

## 薪材の活用で里山の保全と資源の循環利用

### ○ メンバー構成、プロフィール、活動の目的 ○

森の保全と地球温暖化対策を目的に宿泊・温泉施設「美郷の湯」で利用するボイラーと薪ストーブの燃料として、薪やチップの生産活動を9名のメンバーでスタートさせました。

また、竹林整備や木の活用をテーマにした教育プログラムを交付金を活用して、実施してきました。



### ○ 現在の活動内容 ○

今ではメンバーの1～2名がボランティアで里山を整備し、木の切り出しや運搬を行い、それが薪ストーブの燃料として利用されています。薪ストーブは現在、温泉施設で1台、診療所で2台稼働しています。

これまでは、お借りした山林を整備していましたが、期間が終了するため、今後はメンバー所有の山林を整備していく予定です。

これからも、薪材を活用できるよう里山林を整備し、カーボンニュートラルな薪燃料の利用を通じて、化石燃料の減少を実現し、地球温暖化防止に寄与したいと考えています。



ストーブ用の薪

### ○ 交付金終了後の活動資金について ○

現在、薪の切り出し等の活動はボランティアが行っていますが、将来的には、温泉施設の運営費から人件費等を捻出したいと考えています。

このように、今はボランティアが可能な1～2名のメンバーが、仕事の合間に作業を続けていますが、早く、木の切り出しや薪の管理を専任で行う人が出来ればと考えます。今後は、シルバー人材の活用等で、地元高齢者の雇用にもつなげていければと思います。



事務局 吉田 益子さん

### ○ 今後の活動について ○

温泉施設「美郷の湯」は森林の中にあり、県内外からのお客様が癒やしを求めて訪れて下さっています。中でもロビーに置かれた薪ストーブは、単なる暖房機器ではなく、ほっとするあたたかみで癒やし効果があると、とても好評です。このような人にやさしい森の資源を大切に、今後もカーボンニュートラルな薪燃料の利用を増やし、循環型社会の実現を目指していけたらと思います。

また、以前行っていた体験活動プログラムも非常に好評でしたので、今後もチャンスがあれば、森林ワークショップなどを開催し、都会の人達や子ども達が自然を体験する場を提供し、森林保全の意識を次世代につなげていけたらと考えています。



薪ストーブのあるロビー